

書窓

Shoso

No.452

2023.1

太子町立図書館 編集発行

〒671-1561
兵庫県揖保郡太子町鰯
1310 番地 7

Tel (079)277-1580
Fax(079)277-5684

子どもの本だな 110

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

くまのビーディーくん

ドン=フリーマン さく
まつおか きょうこ やく (偕成社)

ビーディーくんは、セイヤーくんがもっているぜんまい仕掛けのおもちやのくまです。

ある冬の日、セイヤーくんの留守中、絵本でくまが洞穴にすむことを知ったビーディーくんは、外へ出かけていきました。丘の上に洞穴を見つけたものの、居心地がよくありません。ビーディーくんは、家に帰っては枕や懐中電灯、新聞をもってきます。でもまだ、なにか足りません。ビーディーくんがおちつかない気分になると、表で大きな音がしました。入口のほうに進んでいくと、突然カタン、コロン！ビーディーくんはあおむけにひっくり返りました。

探しにきていたセイヤーくんにねじをまいてもらい、ぎゅっと抱きしめてもらったビーディーくん。うちのベッドで眠るしあわせが、白と黒のシンプルな絵からも伝わってきます。読んでもらえれば4歳から楽しめます。(福永)

アンナプルナ登頂

モーリス・エルゾーグ 作 近藤 等 訳 (岩波書店)

1950年4月、フランス登山隊は人類未踏のヒマラヤ登山に挑もうとしていました。6月にはモンスーンで山に登れなくなるため、挑戦の期間は1カ月半しかありません。登山隊はダウラギリとアンナプルナ、2つの山の偵察を始めますが、正確な地図もなく危険も多いため、ダウラギリは断念。しかし、大障壁に阻まれていたアンナプルナに北西岩稜のコースを見つけました。体が埋もれるほどの深雪に烈しい風、切り立つ氷の大斜面を隊は進み、ついに隊長のモーリスとラシュナルが登頂を果たしました。下山開始すぐにモーリスは手袋を落とし、両手指は木のようにコチコチに。その後も悪天候で先に進めず、氷雪の裂け目の中で一晩を明かし、雪崩に巻き込まれながらも下山します。

登頂開始から下山までは臨場感にあふれ、一緒に過酷な雪山へ挑んでいるような気持ちになります。登山隊員たちが協力して隊の成功のために尽くす姿や、それを支えるシェルパたちとの絆に心を打たれます。12歳ぐらいから。(八木)

<お知らせ>

うさぎがとびだす写真立て
ポップアップフォトスタンドを作ろう!

・日時:2023年1月29日(日)

①10:30~12:00

②14:30~16:00

・場所:図書館 読書会室

・対象:5歳以上

(小学3年生以下は保護者同伴)

・定員:各回5組まで(要申込)

・持ち物:はさみ、スティックのり

・参加費:無料

・申込:太子町立図書館

※定員になり次第、締め切ります。

※詳しくは太子町立図書館まで。

1月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

▶ ×印は休館日 ※閉館時は返却ポストをご利用ください。

(1/1~3は年始休館、1/11、2/13、2/24は祝日の振替、1/30、2/27は館内整理日)

▶ 開館時間は10:00~18:00、金曜日は20:00まで開館

『 迷宮と迷路の文化史 』 W・H・マシューズ 著

和泉 雅人・宇沢 美子 訳 東京堂出版 478 頁 2022 年 2 月刊 3,600 円 (請求記号) 520.2

迷宮・迷路は、紀元前から現代にいたるまで、考古学、園芸、数学、芸術など、様々なテーマで取り扱われている。著者は、そうした各種文献の迷宮・迷路に関する記述を体系的にまとめあげ、そのあらましと考察を記述している。

考古学的観点で語られる迷宮のひとつとして、テーセウス伝説に出てくるクレタ島の迷宮が挙げられている。テーセウス伝説とは、迷宮を住処にする怪物ミノータウロスを英雄テーセウスが退治するという話であるが、この神話に出てくる迷宮は、果たして実在したのだろうか。モデルとなった迷宮の候補と考えられたのが、クレタ島の南に位置するゴルテユナ洞窟である。人の手が加えられていながら、非常に入り組んだ通路で構成されたこの洞窟が、神話に語られる迷宮か否か、探検者たちは各々の著書で主張した。しかし、後の諸発見によりこの洞窟がミノータウロスの迷宮の起源であるという意見は、信頼性を失うことになる。ゴルテユナの北東にある古代都市クノッソス遺跡の発掘調査を行ったアーサー・エヴァンズ卿は、そこで宮殿跡と数々の古代ギリシア由来の出土品を発見した。牡牛信仰を証拠づけるレリーフや闘牛の様子を描いた壁画、迷路を示唆する雷文の反復模様があしらわれた壁面など、テーセウス伝説を彷彿とさせる物が多く見つかったのである。憶測の域を出ないが、この宮殿こそテーセウス伝説の起源であるとアーサー卿は結論付けている。

本書は、「お父さん、誰が最初に迷路をつくったの？」という娘の素朴な疑問を発端に執筆された。しかし、迷宮・迷路の起源は、多元的かつ根拠が曖昧なものも多く、これが真実だと確信を持って言えるものが少ないため、娘の疑問に正確な解答を出せてはいない。しかし著者は、総合的な視点から莫大な量の文献を読み解くことで、迷宮研究の概説書ともいえる本書の執筆を果たしている。迷宮研究の規範となる視点を生み出したという点で、本書はまさに歴史的偉業の産物と言える。

(光藤)

1月	2月	1・2月の移動図書館 (いずれも木曜日です)				
12日	9日	塚森 地域内 10:30~10:50	沖代 コミュニティーセンター 11:00~11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~14:50	米田 公会堂 15:00~15:20	竹広南 公民館 15:30~15:50
19日	16日			原池団地 公民館 15:00~15:20	山田 掲示板前 15:30~15:50	原 太田東地区農村交流センター 16:00~16:20
26日	23日	広坂 公民館 10:30~10:50	上太田 公民館 11:00~11:20		太子ニュータウン 公民館 15:30~15:50	吉福 公民館 16:00~16:20

📌 <お知らせ> 📌
毎週土曜日に
「おはなしの時間」
を開いています。
・4歳~小学2年生
11:00~11:30
・小学3年生~中学3年生
11:30~12:00
1月のおはなしは、「小さな赤いセーター」「ゆうかんな靴直し」「ボタンインコ」などを予定しています。詳しくは、館内掲示または図書館HPをご覧ください。

地下水

12月、「クリスマス特別おはなしの時間」があった。この日は、大人も子どもたちと一緒におはなしを聞くことができる。私は小さい人(4歳以上)に絵本と詩をすることに決めた。絵本はすぐに決まっていたけれど、詩は…。さてどうしようかと悩んでいると、職員のNさんが、『クマのプーさん プー横町にたった家』(岩波書店)の中に出てくる「外あるきの歌」(プーが思いついた雪の日にならうたう歌)はどうかと勧めてくれた。これなら小さい人でも楽しめる。うだと早速覚え、まず保育園でやってみた。「雪やこんこん ポコポン あられやこんこん ポコポン…」何度も出てくるポコポンが面白いのか口ずさんだり笑ったり。何かいい詩はないかといつも詩集をくついていたが、物語の中にこんなに楽しめる詩があったとは。これからは探す範囲が広がるなど思いながら迎えた本番。半数が大人だったからなのか皆声も出さずこちらをじつと見つめる。そんなに真剣に聞かなくても…。保育園との反応の違いに戸惑いと面白さが入り混じりおかしくなった。

最近入った「にほんの詩集シリーズ」(角川春樹事務所)に、谷川俊太郎やまど・みちおと並んで、中島みゆきがある。詩は思ったより身近にあふれている。(池之上)